

CENTRAL × OBARAWASHI

日本が世界に誇る美術工芸用紙

# 小原・三河森下紙

セントラル画材オンラインショップ<sup>®</sup>でも

## 販売開始

美術工芸紙の源流である和紙でああなたの作品をより豊かに  
サイズ: 森下判(460mm×350mm)

# 一度途絶えた「三河森下紙」を復元 小原楮を100%使った竹簧漉き和紙



愛知県豊田市の小原地域で作られている小原和紙には、実用品としての**伝統的な和紙**と、それを源流とし新しく生まれた**美術工芸作品**としての**小原工芸和紙**の2種類があります。今や小原を代表する和紙となった小原工芸和紙の特徴は、**和紙そのものが美術作品**であることです。このような和紙は、**世界中で小原地域にしか**ありません。その特別な地域の和紙を愛知県名古屋市のセントラルプリントファクトリーがお届けします。

## 小原和紙の始まり

豊田市北部の小原地域で和紙づくりが始まったのは、およそ500年前の室町時代といわれています。矢作川をはさんだ小原のとなり町の、旭地域にやってきた柏庭(はくてい)というお坊さんが、冬の仕事として「紙すき」を教えてくださいました。これが小原和紙の始まりとされています。おもに、三河森下紙という傘紙を作り、小原が和紙の村となりました。

### 小原和紙の特徴

- コウゾの木から作る。
- 紙が厚くてやぶれにくい。
- 見た目のきれいさよりも強さを大切にします。



### 小原ですていたおもな和紙

- 三河森下紙(雨がさけに使う)
- 障子紙(家の障子にはる)
- お札紙(神社で使う)
- その他いろいろ

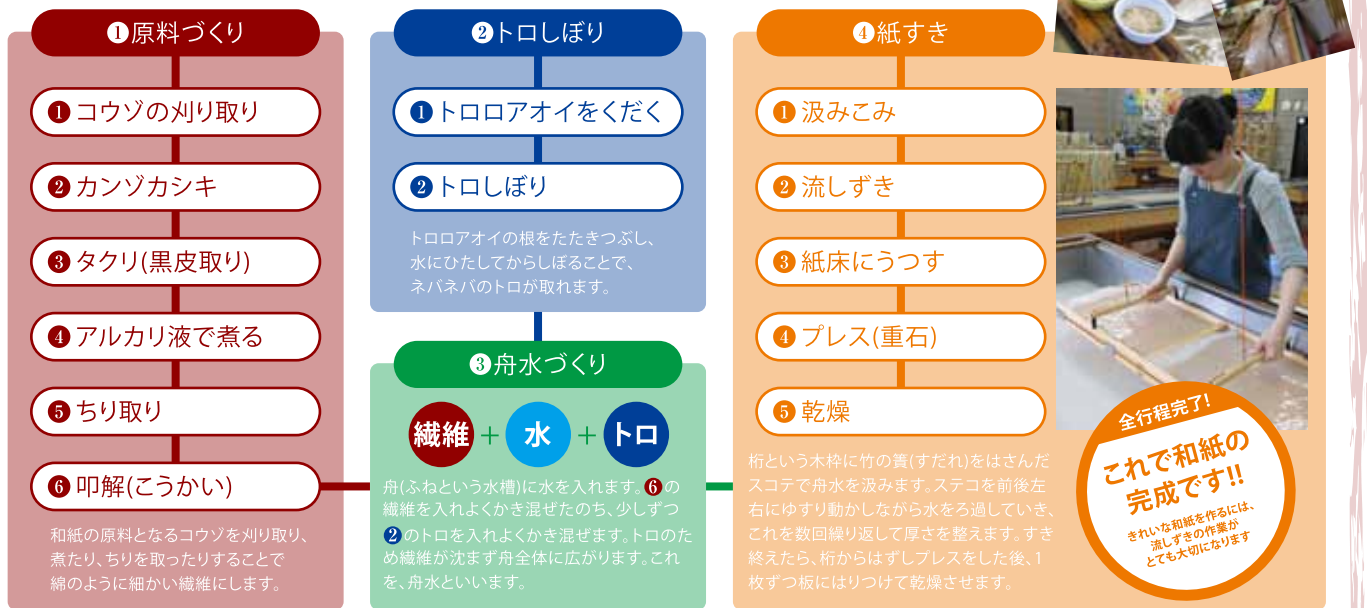


## 原料は？

和紙は、木の皮の繊維を集めて水の力で平たくしたものです。コウゾやガンピ、ミツマタの3種の木を用途別に(書画・障子など)使い分けており、小原では主にコウゾを使います。

## 伝統的な小原和紙の作り方

小原和紙の制作行程は大きく分けて4行程です。



セントラルプリントファクトリーでは、三河森下紙を使用したプリントサービスを行っています。弊社のプリント技術と三河森下紙で、**あなたの創造を想像以上の仕上がりに。**

A3サイズ  
(420×297mm)  
1枚: ¥1,728(税込)

詳しくは  
お問い合わせ  
ください!!

## セントラル プリントファクトリー

名古屋市東区泉一丁目13-26 Tel: 052-953-8628 Fax: 052-951-2641

営業時間: 平日・土曜: AM9:00~PM7:00 日曜・祝日: AM10:00~PM6:00(データ受け、商品お渡しのみ)

<http://www.central-gazai.co.jp/>

セントラル画材

検索